

阿蘇くまもと空港 新旅客 REPORT 2 ターミナルビル

搭乗直前まで楽しめる空港に

3月23日、阿蘇くまもと空港新旅客ターミナルビルが開業しました。

新ビルは、熊本城の黒漆・漆喰をイメージしたデザイン。県産木材をふんだんに使用した、明るく温かみのある空間となっています。

また、保安検査前に買い物や食事を楽しんでいたこれまでのターミナルとは異なり、搭乗待合エリアが充実。熊本名物を提供する飲食・物販店や、県内の人気店が勢ぞろいした国内線保安検査後のエリアには、町内で95年続く「お茶の富澤。」の新業態「TEASTAND Tsuguto.」も出店しています。

令和6(2024)年秋ごろには、広場なども整備される予定です。



1 熊本城をイメージした外観 2 明るく広々とした1階到着ロビー 3 2階に設けられたコワーキングスペース。LINEで簡単に予約できます 4 国内線保安検査後のエリアには、湖池屋九州阿蘇工場のブースも 5 国際線の出国審査後のエリアには従来の10倍を超える面積の免税店が

Interview (株)お茶の富澤。代表取締役社長 ^{とみざわけんじ} 富澤堅仁さん(上小谷)

地域で生まれたものをつなぎ、
人々を癒やす場所に

熊本の玄関口、そして世界とつながる場所でチャレンジできればと思い、出店を決意しました。

店名の「Tsuguto.」には、急須でお茶を注ぐ人、人と人をつなぐ(つぐto誰か)などたくさんの意味があり、「.」には、最後の一滴まで大切に私たちの思いを込めています。

機内にも持ち込みやすい一口サイズの「おやつ団子」は、同じ小谷で、サツマイモを使ったスイーツを作る(有)コウヤマ(芋屋長兵衛)と共同で製作しました。小谷にある空港で、小谷の会社が作る「おやつ団子」を楽しんでほしいです。

空港は、旅の始まりや終わりにいろんな心情をもった人たちが訪れる場所だと思います。そこにあるお店として、地域で生まれたものを訪れる人たちにつなぎ、皆さんが癒やされ、ほっとすることに没頭できる場所になればと願っています。



1 Tsuguto. の皆さん。左から2番目が富澤社長
2 小池の(株)千成堂の豆菓子を使った商品
3 (有)コウヤマと共同製作した3色のおやつ団子
4 お茶を使ったドレッシングなども販売